できることから!



脱プラ生活に挑戦

使い捨てを減らす工夫、 繰り返し使う工夫を実践してみませんか?

使おうマイボトル



使おうマイバッグ



(3)選ぼう 詰め替え製品



断ろう 使い捨て スプーン、フォーク、 ストロー



(5) 選ぼう プラスチックの代替素材 (紙・木・竹など)



日本は1人当たりの プラスチック容器包装 どみの量が

で記番目の多せです

詳しい分け方や出し方については区のHPをご覧ください。



目黒区のプラスチック削減の取組については 区のHPをご覧ください。



分けよう!

リサイクル 再生利用

生まれ変わるプラスチック

分別して「資源」の日に出しましょう。











キャップと ラベルは 外して 9} ^

ペットボトルは横方向に 潰してください。

「資源」として出すプラスチックの汚れは落としましょう。

中身は残さない 01

汚れはさっとすすいで落とし、水を切る 02

汚れが落ちないものは「燃やすごみ」へ

編集 目黒区環境清掃部清掃リサイクル課 TEL. 03-5722-9883 FAX. 03-5722-9573 令和3年7月発行

リサイクル適性(A)

減らそう プラスチック



プラスチックは非常に便利な素材ですが、一方で、プラス チックごみによる様々な地球規模の問題が発生しています。 今、私たちは、プラスチックとのつきあい方を見直す必 要があります。

海洋プラスチックごみは見してすり

世界全体では毎年約800万トンものプラスチックごみが海 洋へ流出していると推計されていて、

このままでは、2050年には海洋における魚の量をプラスチックごみの量が上回ってしまうという予測まであります。(エレン・マッカーサー財団の報告書より)

プラスチックは、自然界で分解されにくく、風や海流にのって 世界の海を漂ったり、海底に堆積したりと、長期間にわたって残り続 けます。

海に漂うプラスチックの破片や袋を、海 鳥やウミガメ、クジラなどの海洋生物 がエサと間違えて食べてしまう事象や、プ ラスチックの漁網にからまって死亡してし まう被害が多数報告されています。

海のプラスチックごみは、海辺でのポイ 捨てや海上での不法投棄など、海域 で発生するものだけではありません。

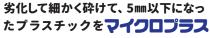
陸上で私たちの生活からでたプラス チックごみも、雨風で川や水路に入り 込み、海に流れ込んでいます。 海がない目黒区ですが、他人ごとでは

清掃活動に 参加しましょう

ありません。



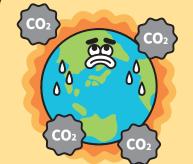




ポイ捨ては

やめましょう

スチックが食物連鎖などによって、生 態系全体や人体に及ぼす影響が懸念 されています。



プラスチックの生産・流通・消費・ 処理の各プロセスでは、二酸化炭素 (CO₂)が排出されています。

二酸化炭素の排出量の増加は、地球 温暖化を進行させる原因となります。









